施工説明書

INAX

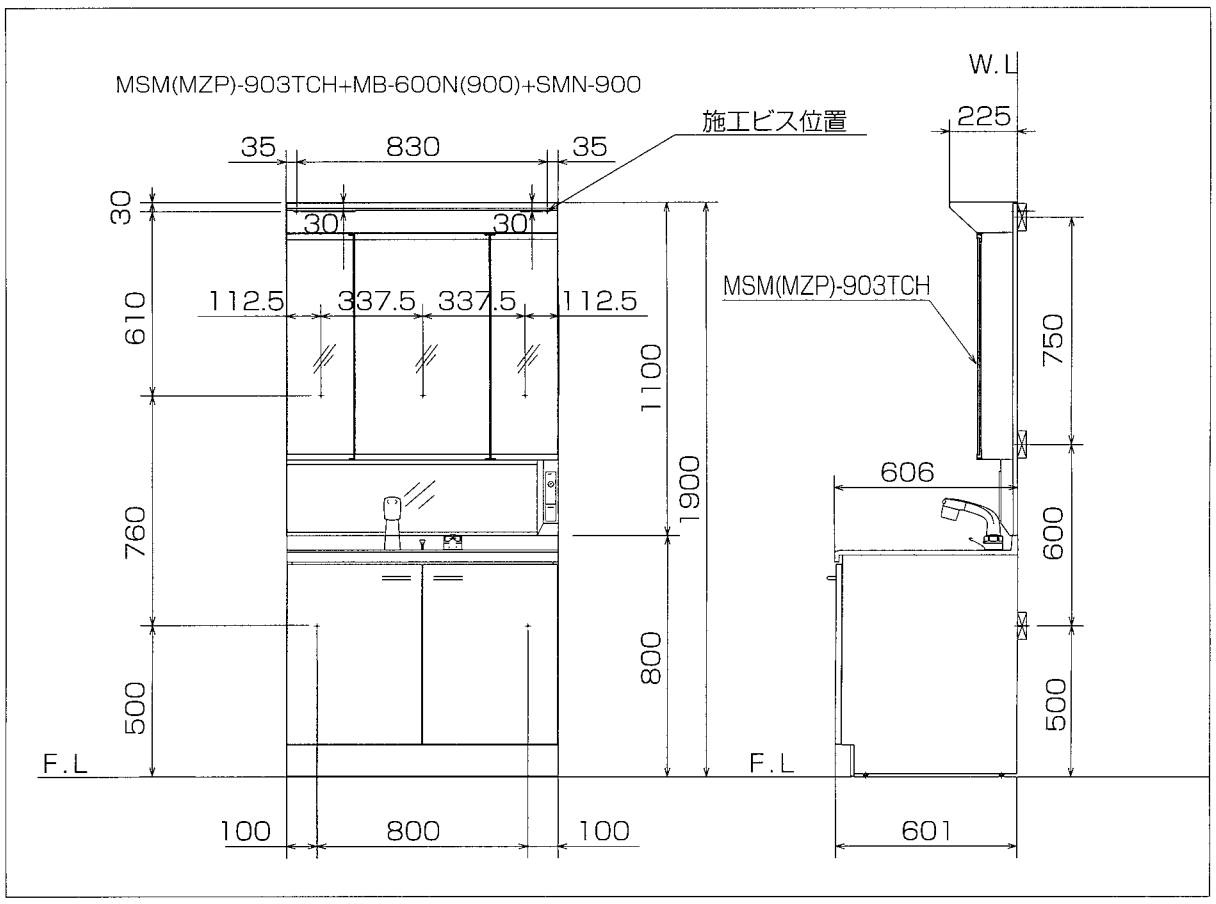
システムマーベリイナ i-ドレッサー シリーズ
ミラーキャビネット

MSM(MZP)- 751CH, 801CH, 851CH, 901CH, 1051CH, 1201CH, 1CH ( )
752CH, 802CH, 852CH, 902CH, 1052CH, 1202CH, 2CH ( )
753TCH, 903TCH, 1053TCH, 1203TCH
753ZCH, 903ZCH

施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■寸法図



■付属部品

MSM- MZP-	751CH 801CH 851CH 901CH	752CH 802CH 852CH 902CH	753TCH 753ZCH 903TCH 903ZCH	1051CH 1201CH	1052CH 1202CH	1053TCH 1203TCH	1CH ( )		2CH ( )	
							1050未満	1050以上	1050未満	1050以上
壁固定用ねじ（φ4.0×60mmなべ）	2本	2本	2本	3本	3本	3本	2本	3本	2本	3本
壁固定用ねじ（φ4.0×60mmさら）	—	1本	3本	—	1本	3本	—	—	1本	1本
化粧キャップ用連結ワッシャー	—	1個	3個	—	1個	3個	—	—	1個	1個
化粧キャップ	—	1個	3個	—	1個	3個	—	—	1個	1個
歯ブラシスタンド	—	1個	1個	—	1個	1個	—		1個	
取扱説明書・施工説明書	各1部									

安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告 ····· 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意 ····· 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが生ずる危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠ ····· 「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠ ····· 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
⃠ ····· 「分解してはいけません！」
❗ ····· 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、思わぬケガをすることがあります。
●ストーブやヒーター等、熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

●電源は必ず専用の建築側配線からお取りください。
※発熱や発火の恐れがあります。
●施工の際コードは必ず取出口から出してください。
※コードを本体と壁にかみ込ませてしまうと発熱や発火の恐れがあります。
●電源を抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
●浴室内等の高温多湿場所へは、設置しないでください。
※漏電や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合はキャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

お願い

●キャビネット取付壁面の不陸が5mm/2mをこえる場合は施工しないでください。
※鏡がひずんだり割れたりする恐れがあります。
●直射日光が当たる場合は必ずカーテン等でさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。

施工前の確認

1. 電源の確認
●電源はAC100Vをお使いください。
電源は必ず電気設備基準、内線規定に準じた配線でブレーカー（100V、20A）の設置された電気配線からお取りください。
●電気配線工事（建築側配線と化粧ミラーキャビネットの接続）は電気工事登録業者に依頼してください。
●2台以上設置する場合、専用回路が必要です。
●最大消費電力1274W／1台
（内コンセント2個合計1200W以下）

株式会社INAX

本　　社 ☎0569-35-2700
関 東 支 社 ☎048-668-1177
関西統括支社 ☎06-6539-3500
北海道支社 ☎011-271-1713
甲 信 支 社 ☎0263-36-2166
中 国 支 社 ☎082-223-1710
東 北 支 社 ☎022-301-1701
中部統括支社 ☎052-201-1717
四 国 支 社 ☎087-821-1701
首都圏統括支社 ☎03-5541-7111
北 陸 支 社 ☎076-264-1710
九 州 支 社 ☎092-282-3154

2. 壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕

●キャビネットの取付可能な壁面は図1,2に示す。

（1）乾式壁3種

（2）湿式壁2種　の以上5種類の壁面のみです。

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕

●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅 90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。

●補強木の柱や間柱への取付部材（ねじ等）は、ミラーキャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように、種類、数を選定してください。

●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。

●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めしてください。

〔壁の不陸について〕

●キャビネット取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。
（キャビネット本体を壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。）

⚠ 注意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。

※キャビネットの取付け強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

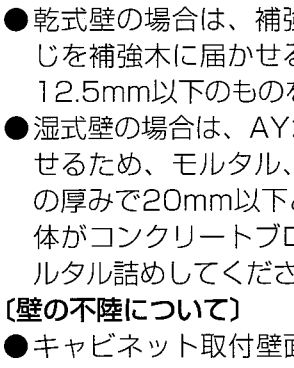
お願い

キャビネット取付け壁面の不陸が5mm/2mをこえる場合は施工しないでください。

※鏡がひずんだり割れたりする恐れがあります。

（1）乾式壁

●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

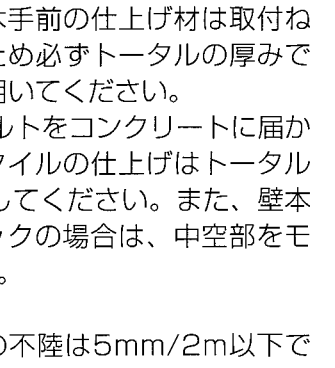
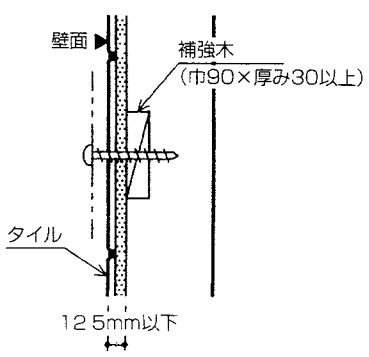


図1

●タイル仕上げ



（2）湿式壁

●モルタル仕上げ　　●タイル仕上げ

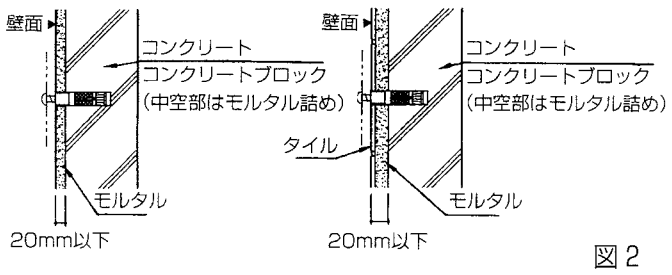


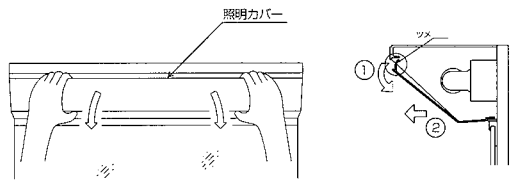
図2

※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

施工方法

■照明カバーの取外し

照明カバーの下面を親指で支え、上カバーとの隙間に他の指先を掛けて、手前下方向に回転させるように引きおろします。上部カバーから照明カバーのツメが外れたら、水平に手前に引き出します。



■ミラーキャビネットの取付け

●乾式壁の場合は付属のねじをご使用ください。

●湿式壁の場合は、AYボルト（別途手配）をご使用ください。

1. 位置決め

●洗面化粧台の立ち上がり部が水平であることを確認してください。水平がでていない場合はミラーキャビネットも水平に設置できません。
また立ち上がり部が床面より800mmの高さであることを確認してください。
また建築側配線が、取り付け間口の右端より60mm、高さ930mmの位置にあることを確認ください。（図3）

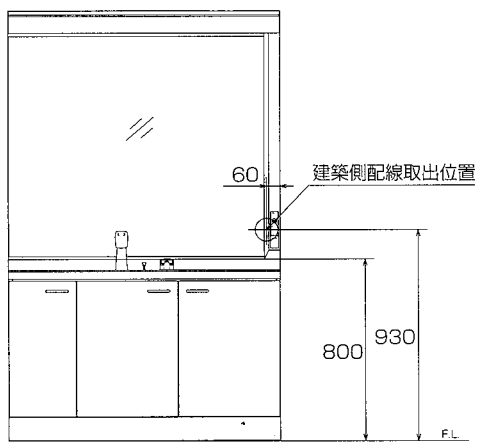


図3

＊建築側配線を出す壁の穴は、50φ程度の大きさで開けてください。

2. 取付け

●スイッチコンセント部を一旦外します。（図4）

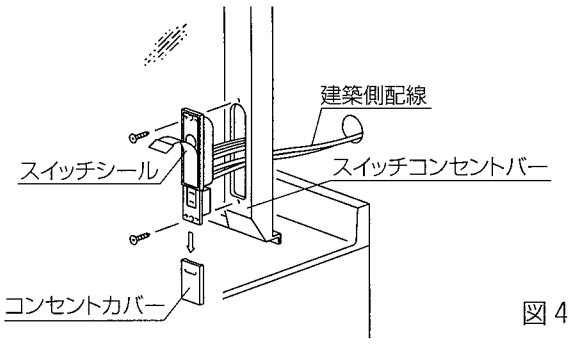


図4

ねじ2ヶ所を取り外し、スイッチコンセントをミラーキャビネット本体から引き出してください。

※コンセントカバーは、下にスライドして取り外してください。

●建築側配線をスイッチコンセントバー開口部よりミラーキャビネット表側に引き出してから、カウンターバックガード上にミラーキャビネットを設置します。（図5、図6）

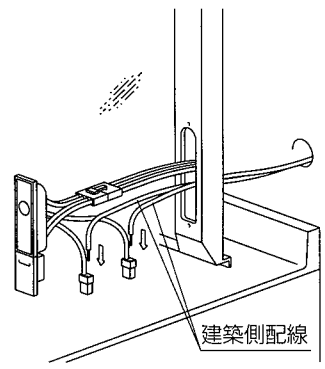


図5

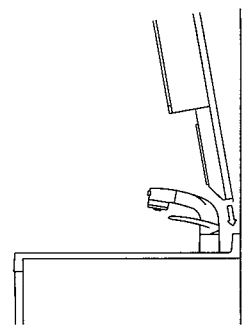


図6

●ミラーキャビネットを壁固定します。

〔1面鏡の場合〕

●壁固定用ねじの固定部は1050mm未満の間口タイプが照明部の両端2ヶ所、1050mm以上の間口タイプが照明部の両端および中央の3ヶ所です。固定部にはそれぞれ下穴が設けてありますので付属のねじ（φ4.0×60mm）で固定してください。（図7）

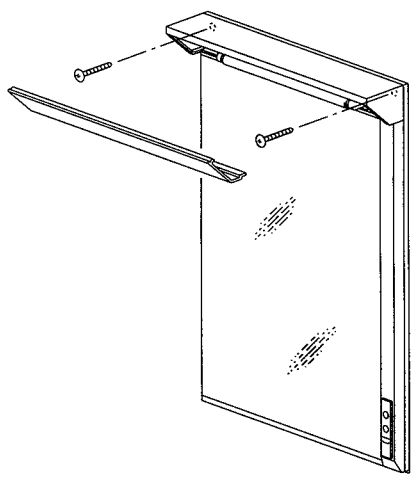


図7

〔2面鏡の場合〕

●壁固定用ねじの固定部は1050mm未満の間口タイプが照明部の両端2ヶ所および収納ボックス内の1ヶ所で計3ヶ所、1050mm以上の間口タイプが照明部の両端と中央の3ヶ所および収納ボックス内の1ヶ所で計4ヶ所です。

〔3面鏡の場合〕

●壁固定用ねじの固定部は750・900mm間口タイプが照明部の両端2ヶ所および収納ボックス内の3ヶ所で計5ヶ所、1050・1200mm間口タイプが照明部の両端と中央の3ヶ所および収納ボックス内の3ヶ所で計6ヶ所です。
固定部にはそれぞれ下穴が設けてありますので付属のねじ（下記）で固定してください。
照明部　　：φ4.0×60mmなべ頭
ボックス内部：φ4.0×60mm皿頭およびワッシャー、ビスキャップ

〔湿式壁の場合〕

（1）壁面のAYボルトの位置を確認し位置出しします。
（2）下穴（φ7.5mm）を壁にあけ切粉をよく取り除きます。
※ 下穴は電動ドリルを使用して正確に開けてください。
（3）AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
（4）壁固定用ねじの固定部は1面鏡は750・900間口タイプが照明部の両端2ヶ所、1050・1200間口タイプが照明部の両端および中央の3ヶ所です。
3面鏡は750・900間口タイプが照明部の両端2ヶ所および収納ボックス内の3ヶ所で計5ヶ所、1050・1200間口タイプが照明部の両端と中央の3ヶ所および収納ボックス内の3ヶ所で計6ヶ所です。

●建築側配線をスイッチコンセント側配線と接続します。（図5）
＊プラスマイナスを間違えないように接続してください。
●配線をスイッチコンセントバー内に納めてから、スイッチコンセントをねじで固定します。
＊初めに取外したねじを用いて2ヶ所固定します。
●コンセントカバーをもとどおりに設置します。最後にスイッチシールの台紙を取って、スイッチコンセント部に貼り付けてください。

3. 照明カバーの取付け

（1）照明器具の周波数は50Hzにセットされています。60Hz地域でのご使用の際にはスイッチを60Hzに切り替えてください。

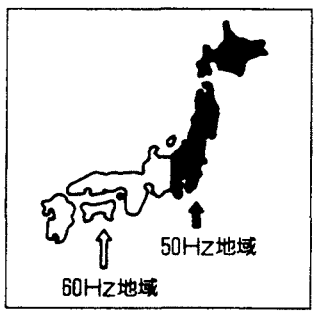


図8

（2）① 蛍光灯の端のテープは、はがしてください。
※輸送中の破損防止を目的としたテープです。

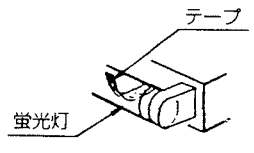


図9

② 図10のように照明カバーの下端をミラーキャビネット本体両端のサイドキャップに引っかけ（①）、上部のツメ全体を照明上カバーに差込みます。

図10

ワンポイント

3面鏡の場合、袖鏡を開けて行うと照明カバーが持ちやすくなります。

施工後の確認

■ キャビネット本体の確認

（1）キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。
（2）キャビネット自体にガタツキ、壁との隙間がないか確認してください。
（3）ミラーキャビネットがカウンターにきちんとはめこんであるか確認してください。
（4）照明スイッチを操作して点灯することを確認してください。